

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

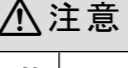



ビジネスインクジェットプリンター共通の内容のため、お使いの製品に搭載されていない部品やオプション品の説明も含まれています。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。






	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。		濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。		電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。		アース接続して使用することを示しています。

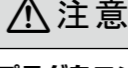

設置

 注意	
 <p>本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。（製品のマニュアルに持ち方の指示があるもの） 他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをすることがあります。</p> <p>本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをすることがあります。</p> <p>本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをすることがあります。</p> <p>本製品またはオプションに付属の転倒防止部材（転倒防止脚、固定金具）は取り付け手順を確認の上、必ず取り付けてください。 転倒などによる事故のおそれがあります。</p> <p>本製品を移動する際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛け、水平な状態で移動してください。 傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが開いて、けがをすることがあります。</p>	 <p>キャビネットのキャスター（車輪）を固定したまま移動させないでください。（キャビネットを使用している場合） 転倒などによる事故のおそれがあります。</p> <p>本製品をキャビネットに装着した状態で移動する場合、段差や凹凸のある場所は避けてください。 転倒などによる事故のおそれがあります。</p> <p>増設カセットユニット、キャビネットは必ず設置可能な組み合わせで使用してください。（オプション品があるもの） 転倒などによる事故のおそれがあります。</p>  <p>本製品は重いので、1人で運ばないでください。（製品のマニュアルに持ち方の指示があるもの） 開梱や移動の際は2人以上で運んでください。本製品の質量は製品のマニュアルを参照してください。</p> <p>本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。 転倒などによる事故のおそれがあります。</p> <p>不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをすることがあります。</p> <p>油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気が多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源

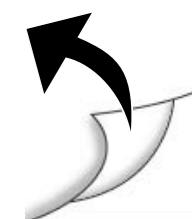
 警告	
 <p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p> <p>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。</p> <p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談してください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを加工しない 電源コードに重いものを載せない 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 熱器具の近くに配線しない <p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>次のような場所にアース線を接続しないでください。（電源コードにアース線が付いている製品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス管（引火や爆発の危険があります） 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）
 <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>	
 <p>漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。（電源コードにアース線が付いている製品） アース線（接地線）を取り付けられない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コンセントのアース端子 銅片などを65cm以上地中に埋めた物 接地工事（D種）を行っている接地端子 <p>アース線の取り付け/取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。</p>	

 注意	
 <p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	










412798100

©2014 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.
2014年7月発行
Printed in XXXXXX







取り扱い

⚠ 警告	
 <p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。</p>	 <p>可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。 アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。 各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。 開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</p>	
 <p>製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。 雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電話線）に触れないでください。 感電のおそれがあります。</p>	
 <p>液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。（液晶ディスプレイがある製品） 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。 </p>	

⚠ 注意	
 <p>本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。 使用時は、キャビネットの前方 2 個のキャスター（車輪）を必ず固定してください。（キャビネットを使用している場合） 固定していない場合、事故の原因となります。 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。 原稿カバーや ADF を開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。 けがをするおそれがあります。</p>	 <p>印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。 本製品やキャビネットの上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。 電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。 詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。</p>

インクカートリッジとメンテナンスボックスの取り扱い

⚠ 注意	
 <p>インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。 </p>	 <p>インクカートリッジやメンテナンスボックスを分解しないでください。 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。</p>
	 <p>インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</p>
	 <p>インクカートリッジやメンテナンスボックスは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</p>